



平成 17 年 4 月 26 日

各 位

三 菱 化 学 株 式 会 社  
本店所在地 東京都港区芝五丁目 33 番 8 号  
代表者名 代表取締役社長 富澤 龍一  
(コード番号 4010)  
問合わせ先 広報・IR 室長 中山 哲也  
TEL 03(6414)3730

三 菱 ウ ェ ル フ ェ ー マ 株 式 会 社  
本店所在地 大阪市中央区平野町二丁目 6 番 9 号  
代表者名 代表取締役社長 小峰 健嗣  
(コード番号 4509)  
問合わせ先 広報・IR 部長 稲端 良次  
TEL 06(6201)1696

## 共同持株会社の設立について

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：富澤 龍一）と三菱ウェルファーマ株式会社（本社：大阪市中央区、取締役社長：小峰 健嗣）とは、本日開催の両社取締役会において、平成 17 年 10 月 1 日を期して、株式移転により共同して完全親会社（共同持株会社）を設立することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1 共同持株会社設立の意義・目的

三菱化学は、平成 14 年 4 月にセグメント制を導入し、事業持株会社制による経営を展開して参りましたが、一層の企業価値向上を図るため、更には今後各事業におけるアライアンスをより容易にするためには、この際ポートフォリオ・マネジメント機能\*と個別事業経営機能とを完全に分離した経営形態である純粋持株会社制への移行が望ましいとの結論に至りました。

その具体的形態として、以下に記載した事由から三菱ウェルファーマとの共同持株会社といたしました。即ち医薬事業については、これまでも、景気変動に左右されにくく収益率が高いことから重要な集中事業と位置付け積極的に資源を投入してきましたが、「革進-Phase2」計画の中で重要テーマに掲げている三菱ウェルファーマの国際創薬企業への成長の早期実現を図る観点から、持株会社下での事業経営に移行することがグループを挙げた支援強化につながり、かつアライアンスにも対応しやすいと判断いたしました。

また、グループ内の他の事業セクションにとっても、同様に持株会社化によって今後他社とのアライアンス等が容易になるなど、夫々が事業環境変化に機動的・弾力的に対応していく上で有効な施策となります。

かかる認識の下、純粹持株会社制のメリットを活かして医薬事業の成長を加速するという視点から、両社による共同持株会社化を三菱化学から提案し、両社で協議して参りました。

一方、三菱ウェルファーマは、平成13年10月の新社発足以降、合併効果の早期実現を目指して拠点の統廃合や要員適正化など事業構造改革を重点的に推進して参りました。しかし、医療費抑制政策の進展や外資系医薬企業の攻勢などもあり経営環境は今後益々厳しくなるものと予想され、アライアンス等によるR&D強化や海外拠点の整備・拡充等が重要な経営課題であると認識しております。こうした経営環境の中、三菱ウェルファーマとしては、今回の共同持株会社化により、医薬專業会社としての事業経営の自主性を維持しながら、国際創薬企業への飛躍のための成長戦略を加速させるアライアンスにも柔軟に対応することが可能になると考えております。さらに、三菱化学並びにヘルスケアセグメント他社との一層の連携による創薬基盤の強化、新たなビジネスモデル創生が可能になる経営施策と判断し合意することといたしました。

三菱化学並びに三菱ウェルファーマは、今回の共同持株会社化が両社の株主の皆様にとりまして意義のある施策になるものと確信いたしており、一致連携して上記の目的達成に全力を尽くして参ります。

なお、今後、三菱化学の全事業部門並びに三菱ウェルファーマ以外のグループ会社につきましても、段階的に事業運営体制の最適化・再編成を進めることによりグループ価値の更なる向上を追求する方針であります。

\* ポートフォリオ・マネジメント：グループ戦略、経営資源の最適活用等を意思決定する機能

## 2 共同持株会社設立のスキーム及びスケジュール

### [スキーム]

両社は、両株主総会の承認及び関係機関の認可等の手続きを経た上で、平成17年10月1日を期して株式移転により完全親会社（共同持株会社）を設立し、両社はその完全子会社として共同持株会社の傘下に入る。

- \* 三菱化学が現在保有しているグループ内の上場会社株式については、早い時期に上場のまま原則として共同持株会社に移管する予定。

[スケジュール]

- |                  |  |
|------------------|--|
| 平成 17 年 4 月 26 日 | 共同持株会社設立について両社取締役会で承認、共同持株会社設立契約締結                                   |
| 平成 17 年 6 月下旬    | 株式移転による共同持株会社設立について、両社定時株主総会（三菱化学：6 月 28 日、三菱ウェルファーマ：6 月 29 日に予定）に付議 |
| 平成 17 年 10 月 1 日 | 株式移転をなすべき時期（株式移転期日）、新規上場（予定）   |
| 平成 17 年 10 月 3 日 | 共同持株会社設立登記（予定）   |

### 3 共同持株会社の概要

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 商号    | 株式会社三菱ケミカルホールディングス（予定）<br>（英文名：Mitsubishi Chemical Holdings Corporation） |
| (2) 設立日   | 平成 17 年 10 月 3 日   |
| (3) 本店所在地 | 東京都港区芝五丁目 33 番 8 号（設立時）  |
| (4) 資本金   | 500 億円   |
| (5) 上 場   | 東京証券取引所、大阪証券取引所  |
| (6) 営業年度  | 毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日（基準日：3 月 31 日）                                     |
| (7) 事業目的  | グループ会社の経営管理<br>（グループの全体戦略策定、資源配分など）                                      |

(8) 役員	代表取締役社長	とみざわ 富澤	りゅういち 龍一
	代表取締役	やまだ 山田	ようすけ 洋輔
	代表取締役	こみね 小峰	たけし 健嗣
	取締役	ふなだ 船田	まさおき 昌興
	取締役	まえがわ 前川	よしゆき 美之
	取締役	さとう 佐藤	りゅういち 隆一
	取締役	いしかわ 石川	ひさし 壽
	取締役	しもじゆく 下宿	くにひこ 邦彦
	監査役（常勤）	よしだ 吉田	ひであき 日出昭
	監査役（常勤）	たかがき 高垣	よしかず 嘉一 *
	監査役	きし 岸	たかやす 隆康
	監査役	すぎはら 杉原	ひろやす 弘泰 *
	監査役	たけはら 竹原	そうみつ 相光 *

（\*は、社外監査役）

(9) 機能  
グループ全体戦略等ポートフォリオマネジメント、  
決算・情報開示等上場関連、ヘルスケア企画機能など  
(添付資料-2 参照)

(10) 発行株式  
① 設立時発行株式の種類及び数：  
普通株式 1,806,288,107 株

② 単元株数：500株

\* なお、株式移転により三菱化学が保有することになる共同持株会社株式については、企業価値向上（戦略的投資資金等）に資する活用方法を今後検討。

#### 4 株式移転の条件

(1) 両社の株主に対する共同持株会社普通株式の割当

- ① 三菱化学の株主に、その所有する普通株式1株に対し0.5株
- ② 三菱ウェルファーマの株主に、その所有する普通株式1株に対し1.565株

それぞれ共同持株会社の株式を割り当てる。

(株式移転比率は、三菱化学株式1：三菱ウェルファーマ株式3.13の割合となる)

(2) 株式移転比率算定の根拠

両社は、公正性・妥当性の観点から、三菱証券株式会社に株式移転比率算定を依頼し、当該依頼に基づき同社が算定した結果を基に両社で協議決定した。

なお、本株式移転比率について、三菱化学は日興シティグループ証券株式会社から、三菱ウェルファーマは野村証券株式会社から、それぞれ財務的見地から妥当である旨の意見書を受領している。

(3) 株式移転をなすべき時期

平成17年10月1日とする。

(なお、共同持株会社の設立登記は、平成17年10月3日に行う予定。)

(4) 株式移転交付金

株式移転交付金は、支払わない。

(両社は、それぞれ中間配当を実施する予定)

5 株式移転当事会社の概要： 添付資料-1の通り

6 共同持株会社の体制： 添付資料-2の通り

以上

添付資料-1

株式移転当事会社(連結)の概要(平成16年9月末現在)

商号	三菱化学株式会社		三菱ウェルファーマ株式会社	
事業内容	石油化学製品、機能化学品等の製造及び販売		医薬品等の製造及び販売	
設立年月日	昭和9年8月		昭和15年8月	
本店所在地	東京都港区芝五丁目33番8号		大阪市中央区平野町二丁目6番9号	
代表者	取締役社長 富澤 龍一		取締役社長 小峰 健嗣	
資本金	145,086百万円		30,560百万円	
発行済株式総数	2,177,675,032株		458,434,883株	
株主資本(連結)	410,694百万円		199,210百万円	
総資産(連結)	1,949,679百万円		282,651百万円	
決算期	3月31日		3月31日	
従業員数(連結)	33,603名		6,085名	
主要取引先	国内および海外に取引先多数		(株)メディセオホールディングス (株)スズケン	
大株主及び 持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	7.68%	三菱化学(株)	58.94%
	日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	6.40%	武田薬品工業(株)	7.18%
	明治安田生命保険相互会社資産管理サービス信託銀行(株)	5.24%	ニプロ(株)	1.84%
	日本生命保険相互会社	4.06%	(株)東京三菱銀行	1.67%
	(株)東京三菱銀行	3.38%	日本マスタートラスト信託銀行(株)	1.49%
	東京海上日動火災保険(株)	3.05%	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	1.48%
主要取引銀行	(株)東京三菱銀行 三菱信託銀行(株) (株)みずほコーポレート銀行		(株)東京三菱銀行 (株)三井住友銀行 (株)みずほコーポレート銀行 三菱信託銀行(株)	
当事会社の関係	資本関係	三菱化学が三菱ウェルファーマ株式270,208千株(発行済株式総数の58.94%)を保有		
	人的関係	三菱化学社長が三菱ウェルファーマ会長を兼任		
	取引関係	通常の営業取引		

最近3年間の業績と当期の業績見込み(連結)

単位:百万円

商号	三菱化学株式会社				三菱ウェルファーマ株式会社			
	平成14/3 実績	平成15/3 実績	平成16/3 実績	平成17/3 予想	平成14/3 実績	平成15/3 実績	平成16/3 実績	平成17/3 予想
売上高	1,780,346	1,887,493	1,925,331	2,190,000	228,983	280,780	235,431	233,000
営業利益	34,841	91,962	98,163	146,000	19,965	29,448	28,727	29,000
経常利益	7,089	75,621	82,613	145,000	16,642	27,385	27,118	28,000
当期純利益	-45,253	21,386	34,547	54,000	8,987	8,255	10,818	12,000
一株当たり 当期純利益(円)	-20.78	9.75	15.82	24.84	24.54	18.05	23.81	26.50
一株当たり 配当金(円)	—	3	4	6	11	10	10	10
一株当たり 株主資本(円)	157.86	161.06	182.59	—	420.06	416.90	435.90	—

<2005年10月>

